

中津市議会議員 大塚 正俊

# まちづくり 通信

発行；大塚まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972  
携帯 090-2508-7959 E-mail [masatoshi@m-ohtsuka.com](mailto:masatoshi@m-ohtsuka.com)  
URL (ホームページ) <http://www.m-ohtsuka.com/>



## “2023 年を振り返って”

国内では自民党の政治資金パーティーをめぐる問題、費用の増大とスケジュールの遅延に揺れる大阪・関西万博、国外ではロシアによるウクライナ侵攻が継続している中、ハマスの攻撃に端を発したガザ地区における紛争が連日のニュースとなっています。

2023 年は呆然自失する事件や出来事が印象に残る年であったような気がします。

今、我々は何（課題）を抱えていて、何（解決）を探さなければならないのか自問自答する年の瀬です。

中津市議会議員 大塚 正俊

## ■令和 5 年第 4 回（12 月）定例議会で決まったこと。【抜粋】

令和 5 年第 4 回定例議会（12 月議会）は、11 月 28 日から 12 月 22 日の 25 日間開催されました。令和 5 年度一般会計補正予算等の予算議案 8 件、条例議案 8 件、その他議案 10 件、人事案件 6 件、報告案件 6 件の計 38 件が上程され、すべての議案を原案どおり可決しました。なお、継続審査となっていた令和 4 年度一般会計等の決算認定議案 12 件も認定しました。

### 1. 令和 5 年度一般会計補正予算（第 5・6 号）；補正額 14 億 3,273 万円

（補正後予算額 507 億 387 万円）

#### 《新規・拡充事業（抜粋）》

□景観再整備事業費（福岡・大分 DC 関連）；196 万円

- ・令和 6 年 4 月から福岡県・大分県・JR グループが共同で開催する福岡・大分デスティネーションキャンペーンに向けて、観光看板を整備する  
松原山展望所の支障木伐採に係る経費

□観光事業（福岡・大分 DC 関連）；140 万円

- ・福岡・大分デスティネーションキャンペーン期間の集客を図るため、市内の観光スポット（日本遺産の構成文化財等）を周遊するモバイルスタンプラリーを開催する。
- ・イベント事業委託料：140 万円（システム構築）
- ・イベント予定期間：R6 年 3 月～6 月（4 ヶ月間）



本耶馬溪町古羅漢の景

□子ども医療費助成事業；6,999万円

- ・発熱患者の増加等に伴う子ども医療費及びレセプト審査手数料の増額
- ・子ども医療費は対当初比30%増の見込み、手数料は対当初比10%増の見込み。
- ・補正後予算額；3億3,758万円

□排水路整備事業（本耶馬溪町青地区）；1,750万円

- ・R5年7月豪雨により浸水被害を受けた青地区の浸水被害を防止するため、雨水の排水路整備を行う。
- ・測量設計委託料（工事区間；100m）

□林業振興事業（造林事業補助金）；940万円

- ・造林事業（下刈り、間伐、作業道開設、幼齢木保護等）に対する補助金の増額
- ・耶馬の森林活性化基金を活用
- ・補正後予算額；3,440万円

□道路長寿命化修繕事業；3,600万円

- ・上ノ原佐知線舗装補修工事（工事区間；320m）
- ・6月30日の豪雨により道路の舗装がはがれ、事故が6件発生

□用水路整備事業（本耶馬溪町冠石野地区）；400万円

- ・本年7月豪雨により浸水被害を受けた冠石野地区（浜岳製作所付近）の用排水路機能強化に係る経費
- ・測量設計委託料（工事区間；210m）

□小学校・中学校・幼稚園保健衛生事業（フッ化物洗口液購入費）；180万円

- ・フッ化物洗口事業において、これまで洗口液は薬剤師指導の下、原液を薄めて作製・配布していたが、衛生面を考慮し、調整済み液体精製剤を購入・配布する。
- ・補助率：国1/2（上限121万円）、補正後予算額；519万円

□住民税非課税世帯給付金給付事業；8億5,157万円

- ・物価高騰の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯に対して1世帯あたり7万円を支給する。
- ・今夏の3万円の支給と合計で10万円
- ・対象世帯；12,100世帯、給付総額；8億4,700万円、事務費；457万円
- ・支給開始時期；2月上旬から

□公共交通事業者燃油高騰対策支援事業；100万円

- ・燃料費高騰により厳しい経営状況にある地域交通事業者の事業継続を支援するため、乗合バス等の運行に必要な経費を助成する。
- ・対象：バス会社2社、タクシー会社6社
- ・期間：R5年10月～R6年3月（R5.9までは予算措置済み）
- ・補助額：燃料の県内市場価格（各月平均）と過去3年平均の差額（上限1/4）



7月豪雨 青地区の浸水状況



7月豪雨 冠石野地区の浸水状況



フッ化物洗口液





## □水稲栽培農家経営継続支援事業；3,007万円

- ・肥料等の価格高騰により厳しい経営状況にある水稲栽培農家を支援するため、栽培面積に応じて生産費（光熱動力費）を支援する。（対象数；642戸）
- ・補助額；栽培面積 0.5ha 以上 1.0ha 未満の生産者 0.1ha 当り 1,700 円、栽培面積 1.0ha 以上の生産者 0.1ha 当り 3,400 円（自家消費分として 0.1ha を差引く）



耶馬溪町での稲刈り

## □施設園芸燃油価格緊急補填事業補助金；160万円

- ・原油価格高騰の影響を受けている施設園芸事業者に対し、燃油価格高騰分を補填する国の施設園芸セーフティーネット構築事業への積立金の一部を補助する。
- ・対象数；9戸、補助率；1/3

## □児童等被害防止対策推進事業；715万円

- ・民間の児童福祉施設に対して、保護者からの確認依頼に応えるためのカメラ設置や子どものプライバシー保護のためのパーテーション等の設置に係る費用を支援する。
- ・対象施設：74施設（保育所、認定こども園、病児保育施設等）
- ・補助基準額：県 1/2、市 1/4、施設運営者 1/4（1施設あたり 10万円）



## 2. 条例の一部改正（抜粋）

## □中津市体育施設条例の一部を改正する条例

- ・耶馬溪水上スポーツ施設（アクアパーク）の利用者の多い時期における使用時間を拡大するとともに、施設の使用料について金額の見直し（約 10% 引上げ）を行う。
- ・使用時間；7/1 から 8/31 日まで；午前 7 時から午後 6 時まで、その他；午前 9 時から午後 5 時まで



アクアパークの水上スキー

## 12月議会の代表質問の概要

■私は、代表質問で以下の項目について市長の考え方を質しました。今回は、その一部を紹介します。

## 1. 奥塚市政の2期目の検証と未来へ前進するための施策について

- ①行財政運営について
- ②福祉施策について
- ③教育施策について
- ④産業振興施策について
- ⑤街づくり施策について
- ⑥環境施策について
- ⑦人口減少対策について
- ⑧労使関係について
- ⑨アグレッシブな施策の展開



1. 人口減少対策について（抜粋）

＜質問＞ 2015年10月に「中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」、およびこれに伴う将来の人口推計を示した「中津市版まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」が策定されて8年が経過し、2020年度には第2期計画に移行しました。

現行のまま推移した場合、山国町、耶馬溪町、本耶馬溪町では、2050年時点の人口が1000人を下回る危機的状況に陥ると推計されます。旧下毛地域に限らず市全域での「人口減少」がいよいよ深刻な段階を迎えています。

これまで、人口減少対策や雇用対策など地方創生に向けた施策が進められてきましたが、人口減少・少子化に歯止めがかかっていないどころか加速化しています。今後、更なる人口減少によって、産業・雇用、地域生活、医療・福祉、行財政サービスへの影響が顕著に表れてくることが懸念されます。

人口減少の原因は「少子化」と「人口流出」、この2つです。今、人口減少の流れに歯止めをかけ、反転させない限り、中津に未来はありません。そこで、「甘い見通し」と「縦割りの対策」ではなく、「人口の1%を取り戻し、若者が安心して住み、結婚し、子どもを産み、育てることができる中津」を創る政策を練りなおし、住民を巻き込んで真剣に取り組む必要があると考えますが如何ですか。

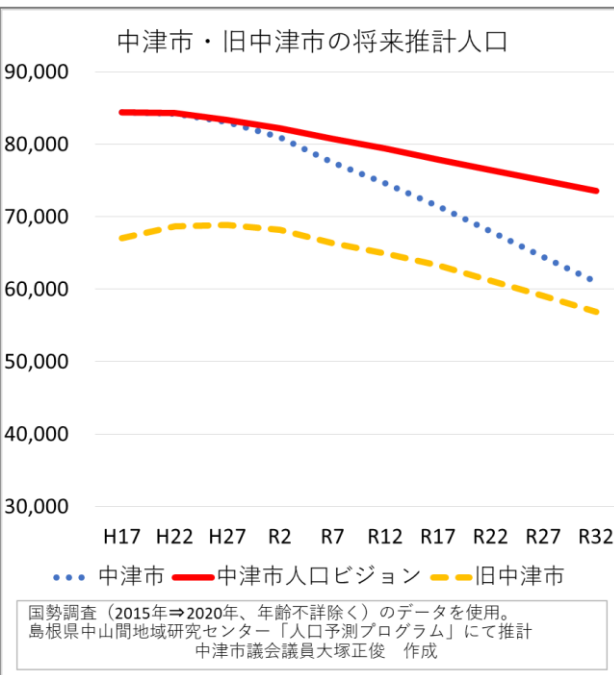
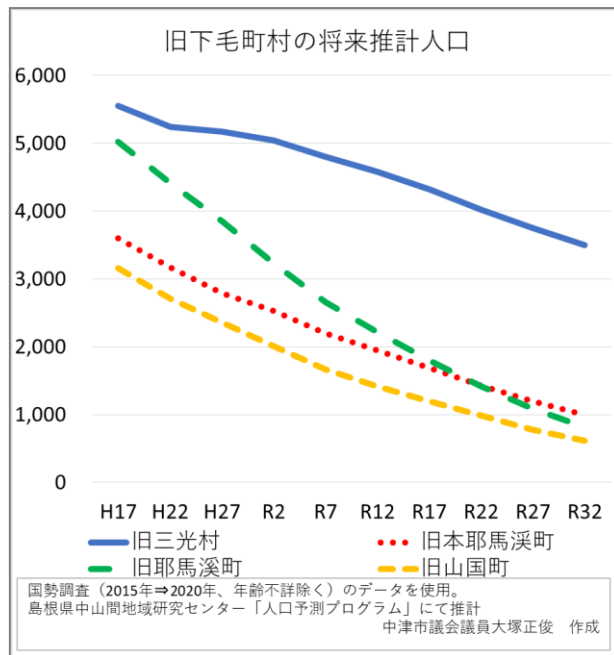
他方、人口減少に歯止めをかけ、反転攻勢をかけたとしても、合併前の旧市町村の人口を取り戻すことは、今となっては至難の技と言わざるを得ません。最悪でも、現行の旧市町村人口を維持する施策の展開と合わせて、そこに暮らす市民の幸福感を高める施策の展開も必要ではないかと考えますが如何ですか。

【市長答弁】 まず、国全体が人口減少段階へ入り、多くの地方自治体で人口減少が深刻となっており、令和2年国勢調査では全国1,719市町村のうち82.5%の1,419市町村で人口が減少しています。

そのような中で、当市の人口は前回比1,102人の減少(-1.3%)となっており、これは、県内では大分市、日出町に次ぐ低い減少率で、全国でも400位台、上位25%以内に位置しています。

このように、当市の人口推移が他の市町村と比較して人口減少が緩やかに抑えられているのは、これまでの取り組みの成果であり、また、その人口は、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)による直近平成30年の推計、中津市人口ビジョン、いずれの推計よりも上回っている状況です。

今後も、子どもを産み育てやすいまちづくりのため

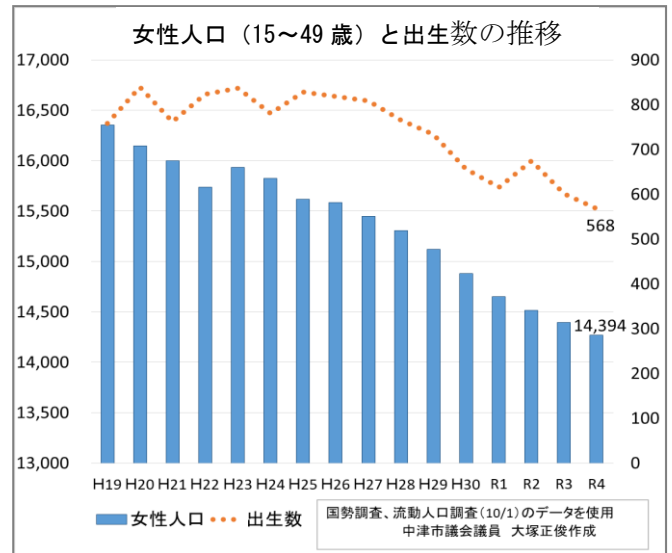


の子育て支援策や、結婚・出産の希望実現のための支援、雇用を生む企業の誘致、地域の産業振興などによる出生者数・転入者数を増やす取り組みに一層注力してまいります。

特に人口減少の顕著な旧下毛地域については、買い物や通院など生活に欠かせない基本的機能の維持、日常生活の中での困りごとへの支援のほか、移住・定住に関する各種対策など、地道な取り組みを重ねてきました。

これに加え、今年度からは新規事業として旧下毛地域における交流人口・関係人口の創出を目的とした補助金制度を創設し、地域活性化の取り組みを支援しています。また、産業では、山国地域で35年ぶりとなる工場誘致も決定したところであり、今後、中津日田道路の開通区間延伸によりさらなる立地も期待されます。

このような取り組みの効果として、より多くの方に地域での暮らしに幸せを実感してもらい、このことがさらに人や企業を呼び込む好循環につながるものと考えています。



## 2. アグレッシブな施策の展開（抜粋）

＜質問＞ 奥塚市政の2期目は、コロナ感染症に翻弄された4年間であったといえます。コロナ感染症への対応や市民や事業者等への支援策で自治体間の格差が生じ、厳しい評価を受けました。奥塚市政はコロナ禍であっても無難な行財政運営を行ってきましたが、残念ながら奥塚カラーの事業は皆無に等しいと言わざるを得ません。豊富な行政経験、県との強いパイプに期待してきましたが、待ったなしの人口減少、少子高齢化、過疎化対策に、即効性のある施策を打ち出すことができていません。

社会が成熟している時代にあって、アグレッシブな施策を展開しなければ中津市の発展や若者の期待感は高まってきません。10年後、20年後のビジョンを明確にし、葛藤を恐れずに、変化を起こすことで躍動感のある中津市を目指すべきであると考えますが如何ですか。

【市長答弁】 変化の激しい現代社会において、行政には、根拠に基づく政策立案や、現場の声をしっかりと把握し、市民ニーズに沿った施策展開を図ることが重要です。同時に、山積する課題に対して限りあるリソース(人材、財源)で効果的、効率的に対応していく行財政運営も求められています。

このようなバランスを取りつつ、中津市では、これまで企業立地の促進や、子どもの遊び場・居場所づくりといった子育て支援、オンラインサービス拡充をはじめとしたDX推進など、攻めの施策にも積極的に取り組んできました。

10年後、20年後の将来を予測することは非常に難しくなっていますが、そのような中でも、変化する社会情勢や時代の潮流に柔軟に対応しながら、常に「変化」を恐れず、困難な課題に「挑戦」し、市民ニーズに応える新しい施策を「創造」していくことで、市民や事業者の挑戦や創造を支え、後押しできるような基盤づくりを進めることが行政の役割であると考えています。





**活動日誌** 主な活動の一部をご紹介します。

月	日	曜日	活 動 内 容
10月2日	(月)	大分県市議会議長会議員研修会	
10月3日	(火)	決算委員会(総務企画環境委員会)傍聴	
10月4日	(水)	決算委員会(産業建設消防委員会)	
10月5日	(木)	決算委員会(教育厚生委員会)傍聴	
10月6日	(金)	決算委員会(教育厚生委員会)傍聴、北部幼稚園運動会	
10月7日	(土)	県政市政報告会in北部・豊田、中津南高32回生幹事会	
10月9日	(月)	「9.19を忘れまい」平和を願う集会	
10月10日	(火)	人口減少対策特別委員会、会派会長会	
10月13日	(金)	まちなみ歴史探検(沖代小)、なかつ耶馬溪活き域きネット役員会	
10月14日	(土)	耶馬溪にっぽん酒をつくる会稲刈り	
10月15日	(日)	地元八社神社秋祭り(豊前蛸瀬神楽奉納)	
10月16日	(月)	会派先進地視察(三木市、淡路市、明石市、朝来市、18日まで)	
10月19日	(木)	まちなみ歴史探検(真坂小、深水小、山口小、秣小)	
10月20日	(金)	中津市自治研究センター理事会・ミニ研	
10月22日	(日)	北部公民館まつり、中津市長選奥塚正典候補出陣式	
10月25日	(水)	全国市議会議長会研究フォーラム(北九州市、25日まで)	
10月27日	(金)	まちなみ歴史探検(小楠小)	
10月28日	(土)	中津南高同窓のつどい、中津南高創立130周年記念式典・講演会	
10月29日	(日)	新大塚広場・道路清掃活動	
10月31日	(火)	産業建設消防委員会先進地視察(神戸市、伊丹市、津山市、11/2まで)	
11月2日	(木)	中津地区平和運動センター定期総会、中津市職労青年部定期大会	
11月3日	(金)	文化の日中津市表彰	
11月4日	(土)	工科短期大学学園祭「昂華祭」出店(5日まで)	
11月5日	(日)	新大塚町防災訓練	
11月6日	(月)	議会運営委員会先進地視察(富士市、犬山市、豊橋市、8日まで)	
11月9日	(木)	まちなみ歴史探検(南部小)	
11月11日	(土)	中津南高32回生還暦+2同窓会、北部校区なぎさサロン役員会	
11月12日	(日)	北部校区防災訓練(避難所開設・運営訓練)、会派打合せ	
11月14日	(火)	本耶馬溪の今後を考えるワークショップ	
11月16日	(木)	人口減少対策特別委員会、代表質問執行部との打合せ、会派会長会	
11月17日	(金)	まちなみ歴史探検(豊田小)	
11月18日	(土)	北部校区なぎさサロン	
11月19日	(日)	太宰府市議会議員研修会(20日まで)・親睦会	
11月22日	(水)	まちなみ歴史探検(如水小)	
11月25日	(土)	耶馬溪観光秋祭り出店(旬彩館、26日まで)	
11月27日	(月)	議会運営委員会、会派会長会、人口減少対策特別委員会、県政市政対策会議	
11月28日	(火)	12月議会開会、産業建設消防委員会、北部地域福祉ネットワーク協議会研修会	
11月30日	(木)	人権を守る市民のつどい	
12月5日	(火)	12月議会代表質問登壇、産業建設消防委員会協議会	
12月6日	(水)	12月議会一般質問、北部校区自主防災会役員会	
12月7日	(木)	12月議会一般質問、会派会長会、会派打合せ	
12月10日	(日)	新大塚町自治会役員会、住まいの建築相談会、諭吉カレー博覧会	
12月11日	(月)	12月議会一般質問、議会運営委員会、産業建設消防委員会協議会	
12月13日	(水)	12月議会議案質疑、人口減少対策特別委員会、中津市職労定期大会	
12月14日	(木)	12月議会産業建設消防委員会、産業建設消防委員会協議会(事務調査)	
12月15日	(金)	12月議会教育厚生委員会傍聴	
12月16日	(土)	地元八社神社に門松奉納	
12月17日	(日)	地元八社神社清掃、明蓮寺大掃除・仏教壮年会忘年会	
12月18日	(月)	12月議会総務企画環境委員会傍聴	
12月20日	(水)	12月議会自由討議、議会運営委員会、人口減少対策特別委員会	
12月22日	(金)	12月議会最終日、議会運営委員会、産業建設消防委員会(下水処理場調査)	
12月23日	(土)	農家民泊みどりさん家餅つき	
12月24日	(日)	Loveファンタジア中津 2023開会式	
12月25日	(月)	2024年度当初予算の福祉施策充実を求める要請書提出	
12月29日	(金)	明蓮寺餅つき	



県政市政報告会 in 北部



にっぽん酒をつくる会稲刈



新大塚町防災訓練



本耶馬溪ワークショップ



まちなみ歴史探検(如水小)



中津市職労定期大会



◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊Twitterアカウントで検索して下さい。

**編集後記(ひとりごと)** 昨年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」は、「税」に決まりました。1年を通して増税の議論が行われたことなど「税」にまつわるさまざまな議論が行われたことが理由ですが、増税メガネははずしてほしいですね。(まさとし)